



Vol.16 | 2015 春号

文化飛翔

bunka-hisho

第8回山口県総合芸術文化祭を振り返って

よこがお ~会員紹介~

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ 文化の小径

YAMAGUCHI CULTURAL FEDERATION

山口県文化連盟会報

第8回

山口県総合芸術文化祭を振り返って

山口県総合芸術文化祭では、毎年、県内全域でさまざまな文化イベントを繰り広げています。第八回となる平成二十六年度は、詩と音楽をとりあげたメインフェスティバルのほか、二十一の分野別フェスティバル、二つの県立美術館でのイベントを実施しました。



メインフェスティバル

詩と音楽のフェスティバル 遊びたがる言葉たち

〜こころばであそぶ・おんがくであそぶ〜

●開催日：平成二十六年十二月二十四日（月・振休）

十四時開演

●場所：周南市文化会館（周南市）

周南市で生まれ、幼少期を過ごした詩人まど・みちおさん。

第八回山口県総合芸術文化祭では、昨年二月に亡く



フィナーレ

なられたまど・みちおさんにスポットをあて、まどさんの世界観を表現しました。

会場では山口県の文学者たちを紹介する「やまぐちの文学コーナー」パネル展が設けられ、県立徳山高等学校書道部がまどさんの代表作である「ぞうさん」を書いて表現

したウェルカムボードが来場者をお迎えしました。

六つのテーマで構成された舞台は、テーマ毎にまどさんの「いわずにおれなかつた」言葉たちを紹介しており、その短い言葉の中に込められたまど・みちおさんの思いをお届けしました。

「ぞうさん」の詩がどのように読まれたがっているかを紹介したオープニングから始まり、「リンゴ」の詩を通して「ものの存在の仕方」の素晴らしさを伝えた第一章。

生きものがその生きものであることを喜ぶ「いのちの喜びの詩」を表現した第二章。いのちのないものたちへ、いのちを吹き込む、まどさ



中井 亮一さん



会田 莉凡さん

ん独特の表現を紹介した第三章。

宇宙にある全ての存在が平等に大切だと教えてくれた第四章など、詩と音楽を通じて来場者の皆様にまどさんの色んな側面をお伝えすることができました。

エンディングでは、ユニークな言葉遊びが光る「がいらいごじてん」などの詩を紹介し、出演者全員でまど・みちおメドレーを歌い、幕を閉じました。

来場者からは、「普段、生演奏等、生の音楽にふれる機会がほとんどないので大変良かった」「心に満ちた一日となった」などの感想が寄せられ、無事成功裡に終わることができました。

さらに「まどさんのすごさを改めて実感した」「改めてまどさんがこんなに支持されるのか分かる気がした。みんなまどさんの心を持って明るく生きてほしいと思う」などの声をいただき、郷土の詩人の素晴らしさを感じていただける舞台となりました。



周南国際交流児童クラブ



徳山高校朗読



徳山高校書道部



コール・かとれあ／くるみ女声合唱団



周南少年少女合唱団



桑山中学校吹奏楽部



スリーアローズ吹奏楽団

出演者のみなさん

〔声乐〕 中井亮一（平生町出身）

〔ヴァイオリン〕 会田莉凡（第三回秋吉台音楽コンクール室内楽部門第一位）

〔合唱〕 周南少年少女合唱団、コール・かとれあ／くるみ女声合唱団

〔吹奏楽〕 防府市立桑山中学校吹奏楽部、スリーアローズ吹奏楽団

〔舞踊〕 周南国際交流児童クラブ

〔朗読〕 県立徳山高等学校放送部

〔書道〕 県立徳山高等学校書道部

メインフェスティバルのほかに県立美術館や県立萩美術館・浦上記念館などで文化に触れるイベントが行われました。

ミュージアム・タウン・ヤマグチ HEART2014

●開催日：十月二日～十九日

●場 所：県立美術館及びその周辺

山口県立美術館が中心となり、地域の芸術家や人々と一緒になって、魅力あふれる中心市街地のイメージづくりを目的に開催された「HEART2014」では、期間中、県立美術館から一の坂川周辺、商店街にかけて多くの文化芸術イベントが開催され、商店街の約100店舗でポスターやパンフレットが飾られるなど、地域一体となって盛り上がりました。

◆第六十八回山口県美術展覧会

◆アート・マート（県立美術館ミュージアムショップ）

◆アート・ルート一の坂

◆アート・フォレスト 県美の森



アート・ルート一の坂（くぼたまさと工作ショー）

NHK Eテレ「つくってあそぼ」に出演中の久保田雅人さんが工作パフォーマンスを披露しました。



アート・フォレスト 県美の森（県美の森で遊ぼう）

親子でエコや防災に親しんでもらおうと、「空き缶でランブ作り」などのワークショップ等が実施されました。

アートフェスティバル2014

●開催日：八月二十三日

●場 所：県立萩美術館・浦上記念館

施設、団体、地域が連携して地域の特色ある文化芸術活動の発展を目的に開催された「アートフェスティバル2014」では、小学生を中心に昨年を上回る多くの方が来場され、県内外の幅広い世代の方々と活発な交流が行われました。ワークショップでは、予定していた定員が増員され、多くの方に萩の文化に親しんでいただきました。

◆オリジナル缶バッチをつくろう！

◆萩焼でオカリナをつくろう！（萩オカリナ塾）

◆オカリナ演奏会

◆萩人形をつくろう！（岡野芳子氏と萩人形の会）

◆チェンソーアートで何ができるかな？



萩焼でオカリナをつくろう！

粘土からオカリナ作りに挑戦しました。



萩人形をつくろう！

衣装が華やかな萩人形を制作しました。

萩市文化協会

●会長 斉藤 武男
 〒758-0041
 萩市大字江向495-4
 萩市文化・生涯学習課内
 ☎08368-295-39590

萩市文化協会は、平成十八年に開催された国民文化祭の一環として、萩市でも多くの事業が行われたことにより、市内の美術、文芸、演劇等の団体が、萩市における素晴らしい文化芸術の土壌を次世代に引き継ぐことを目的として、同年九月に設立をされました。

今年で九年目を迎え、団体会員五十八団体、個人会員五十三名、賛助会員五名で活動を行っています。

協会は、文化を愛する会員同志、お互いに文化への共通認識を持ち、理解し、連携、協力を行いながら活動を行っていくことを柱とし、総会、講演会、シンポジウムの開催や、年二回の会報誌の発行、萩市美術展、市民音楽祭等の文化事業への後援などを行っています。また、昨年の集中豪雨の際には、被災地域や被災会員への応援や義援金の寄贈など、協会として出来得ることに積極的に取り組んでいます。こういった活動を通じて文化団体の連携が高まり、更なる文化振興に繋がっていくものと考えています。

萩は、平成三十年に明治維新一五〇年を迎えます。それに向けて「花燃ゆ」をはじめ、萩市内で多くの歴史関連事業が実施される中、文化協会としても加盟団体の活動を支援し、情報共有、交換を図りながら、萩オリジナルな文化の継承や人材育成など、萩文化の発展に寄与できるように努力してまいりたいと思います。



会員紹介 ▶ よこがお

山口県合唱団

●団長 末廣 正巳
 〒753-0022
 山口市折本2-11-72
 ☎0836-6263-809263

山口県合唱団は、県内の教員や声楽家、合唱指導者など、歌をこよなく愛す、約四十人のメンバーで、平成元年に結成された合唱団です。事業内容は明確で、毎年山口県教育委員会から委嘱される巡回芸術劇場で県内の小中学生に、合唱を中心とした『声』の芸術の楽しさ・素晴らしさを味わってもらうこと及び、それに向けた高いレベルの稽古です。

結成から四半世紀以上にわたり、山口県内各地の百校を越える小中学校を対象に楽しい合唱の公演を続けてきました。

プログラムは、「春の小川」「夏は来ぬ」「村祭」「紅葉」「雪」「故郷」「さくら」「通りゃんせ」などの歌い継ぎたい日本の歌、「さんぽ」「となりのトトロ」「君をのせて」「ひこうき雲」など、児童生徒に人気の比較的新しい歌。また「ドレミの歌」「Oh, Happy Day」などのミュージカルナンバー。さらに合唱曲だけに留まらず、ゲスト歌手を招聘しての独唱や重唱、また山口県内では鑑賞の機会の少ないオペラ（音楽劇）の上演など多岐に渡っています。

昨今、『学力向上』に追われる学校現場で、ともすると失ってしまいがちな『豊かな人間性』『暖かな心』を育んでいくことのできる貴重な事業であるとの自覚と使命感をもって、今後もこの事業が拡大することを望んでいるところです。



一般社団法人 山口県書道連盟

●会長 津田 伸(峰雲)

〒756-0814

山陽小野田市千代町1-8-2

☎0839-93-9905

一般社団法人山口県書道連盟は県内の約四十書道団体を結集、会員数約500名の団体であります。

毎年、県内各地を巡回しながら山口県書道連盟展を開催、県民の皆さんに書道芸術の普及および振興に努めております。(昨年は三十二回展を周南市文化会館で開催)又、三年前に中国山東省書法家協会と相互交流の日中友好書道展も山口県美術館に於いて開催し、国際交流はかつてまいりました。

三十一回県書道連盟展からは、会員の作品展のみならず、期間中に小・中学生・一般の県民にも自由に参加できる手書き文字遊びや、学生、児童生徒の書道パフォーマンス、役員の揮毫会等を開催。

一昨年八月開催の第十六回日本ジャンボリーには「文化の交差点」に参加、外国の子供たちに「書」の体験を手助け。今年夏の第二十三回世界スカウトジャンボリーに参加支援予定。毎年秋開催の防府天満宮奉納書道パフォーマンスに参加(共催)。

更に二十五年度より新企画事業県民参加型の第一回文化交流展「書といけばな展」は、山口市の華道団体と共催で他の文化団体との交流を深めて地域文化の発展に寄与し、親睦を図ることができました。二十七年二月の第二回文化交流展は光市文化センターで「書と陶芸展」展を開催。

前記のように県書道連盟は、今後も自己の研鑽のみに留まらず、県民皆さんとの交流を深め、共に楽しみ学びあえることを願い活動してまいりたいと念願しております。



H26.1.18(土)～19(日)
第1回文化交流展



H25.8
第16回日本ジャンボリー
「文化交差点」



第31回山口県書道連盟展
揮毫会

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

公益財団法人 下関市文化振興財団

●理事長 中野 忠治

〒750-0025

下関市竹崎町4丁目5番1号

下関市民会館内

☎0831-231-6401

昭和五十二年五月に市民会館の管理運営業務を行うため(財)下関市民会館管理公社として発足しました。平成十年四月に文化施設の管理だけでなく、下関市民の文化活動の振興を図ることを目的に(財)下関市文化振興財団と名称を改め、さらに、平成二十二年二月から下関市立近代先人顕彰館(愛称・田中絹代ぶんか館)も管理運営することとなりました。

現在は、「下関市民会館」と「下関市立近代先人顕彰館」の二施設を指定管理者として、有効利用できるように努めるとともに、下関市における文化芸術の振興を図り、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進し、心豊かな生活の向上に寄与することを目的としてさまざまな事業を行っております。

平成二十六年度は、市民へ鑑賞の機会を提供する事業として、中村絃子ピアノコンサート、歌舞伎フォーラム公演、ポール・モーリア・オーケストラ公演などを開催しました。その他にも青少年育成のための学校公演、各地域に向向いて行う地域公演、舞台芸術の魅力をより身近のものとするため舞台芸術ワークショップなども実施しました。

下関市立近代先人顕彰館二階においては、下関出身の女優田中絹代の1000点にのぼる遺品や、写真・資料により、彼女の人生を紹介しております。また、一階においては、下関が生んだ文学者や音楽家をはじめ下関ゆかりの文化人を顕彰するための企画展を行っております。

今後も、広く市民の意見に耳を傾け、市民のニーズに沿った事業や文化施設運営に心がけると共に、文化振興のさらなる発展に寄与するよう努めていきたいと考えております。





トピックス&インフォメーション

山口県からの お知らせ

◆県立美術館 メンバーズクラブ

メンバーズクラブでは、山口市と萩市にある二つの県立美術館をよりお楽しみいただけるサービスをご用意しております。

●会員特典

○展覧会が三回まで無料

※四回目以降は半額でご観覧できます

○開催中の展覧会図録の割引販売

○両館の展覧会、イベント情報等の郵送

○カフェでのお得な特典

※詳しくは、各館にてお尋ねください

○会員限定イベント

●年会費

一般会員 二,〇〇〇円

学生会員 一,七〇〇円

シニア会員 一,四〇〇円

●有効期限

入会日

平成二十八年三月三十一日まで

●募集期間

二月二十一日(土)～七月三十一日(金)

※各美術館で申込ができます。

※申込用紙は各美術館のホームページからダウンロードできます。

平成27年度 美術館開催企画展 ※展覧会の会期・内容は変更になる場合があります。

■ 県立美術館 TEL 083-925-7788 <http://www.yma-web.jp>

企画展名	期間	内容
超絶技巧! 明治工芸の粋 -これぞ明治のクールジャパン!!-	開催中～4月12日(日)	村田理如コレクション秘蔵の名品(金工、蒔絵、七宝等)を展示し、明治工芸の全貌とその魅力を紹介
篠山紀信 写真力 THE PEOPLE by KISHIN	4月25日(土)～ 6月14日(日)	1960年代初頭に写真家として活動を始めて以来、最初の大回顧展。「写真家 篠山紀信」の全貌を紹介
恐竜戦国時代の覇者! 世界大恐竜展	7月10日(金)～ 8月30日(日)	夏休み特別企画展。知られざる大陸ララミディアとゴンドワナの恐竜進化の謎に迫る展覧会
第69回山口県美術展覧会	9月26日(土)～ 10月12日(月・祝)	69回目の開催となる全国的にも独創的で評価の高いノンジャンルの公募展
ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画 -マネジメントの父が愛した日本の美	10月30日(金)～ 12月6日(日)	水墨画の世界的コレクターであるピーター・ドラッカー氏のコレクションの中から約80点を展示し、日本水墨画の魅力を紹介
リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派	平成28年3月18日(金)～ 5月8日(日)	エヴァレット・ミレイなど19世紀後半のイギリスを代表するラファエル前派の画家たちの作品を紹介

■ 県立萩美術館・浦上記念館 TEL 0838-24-2400 <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp>

企画展名	期間	内容
2015年NHK大河ドラマ特別展 「花燃ゆ」山口展	4月18日(土)～ 5月24日(日)	吉田松陰やその妹・文ゆかりの品や、同時代の歴史資料などを紹介し、長州の人たちの人物像やその時代背景に迫る展覧会
「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美	6月6日(土)～8月16日(日)	図様の豊かさや大胆な構図、達者な筆致で描かれた伊万里染付の大皿の魅力約140点で紹介
木版画家 立原位貫 -江戸の浮世絵に真似ぶ	8月29日(土)～ 9月27日(日)	立原の画業を通じ、浮世絵版画の制作工程や木版画の伝統技法で制作された、立原位貫のオリジナル版画作品を紹介
青磁のいま ～受け継がれた技と美 南宋から現代まで～	10月10日(土)～ 11月29日(日)	中国・南宋時代の名品をはじめ、時代精神を映し出した作品を通して青磁の魅力を紹介
シリーズ山東文物9 中華の服飾芸術	12月12日(土)～ 平成28年1月17日(日)	友好協定を締結している山東博物館等の収蔵品から、中国における装いの美を紹介

平成二十六年年度十二月以降の芸術文化関係表彰受賞者紹介

◇山口県選奨

本県の芸術・文化の発展に尽力し、功績顕著な個人や団体を知事が表彰するものです。

- 大井 正則 (陶芸家)
- 兼田 昌尚 (陶芸家)
- 副島 弘道 (山口県文化保護審議会委員)
- 野村 忠司 (下関市文化協会会長)
- 安田 羊佑 (山口県ダンス連盟理事長)
- 宮野の川をきれいにする会 (ホタルの保護・増殖活動)

◇山口県文化功労賞

文化に関する創作や地域の文化団体の活動等を通じて、文化の振興に顕著な功績があった個人や団体を知事が表彰するものです。

- 堀 研 (美術/絵画)
- 上本ひとし (美術/写真)
- 倉田 竹峰 (美術/書道)
- 河村 正浩 (文芸/俳句)
- 大場 洋 (文芸/川柳)
- 有富 美子 (音楽/声楽・音楽指導)

◇平成二十六年年度メダル栄光 (文化賞)

学校教育又は社会教育部門において、世界的コンクール等での優秀な成績又は全国的コンクール等での最優秀若しくはそれに準ずる成績を取った個人又は団体を知事が表彰するものです。

- 石川 真由 (須恵小六年)
- 船林 里歩 (宇部フロンティア大学 付属中一年)
- 中原 舞葉 (末武中三年)
- 稲野 瑛 (宇部フロンティア大学付属 香川高一年)
- 野村 由佳 (野田学園高二年)
- 西村 礼貴 (徳山工専五年)
- 野田学園平成二十五年年度四年C組
- 萱野 真子 (文関小六年)
- 井本 千晴 (柳井中二年)
- 河村 杏衣 (桑山中二年)

- 菅成 海光 (福栄中二年)
- 村木 晴菜 (周陽中三年)
- 魚原麻莉阿 (柳井学園高一年)
- 久保 輝太 (徳山高二年)
- 岩原 航平 (田布施農工高二年)
- 弘中 建 (田布施農工高二年)
- 中村実香子 (宇部高二年)
- 山口市立白石小学校
- 「ラジオ体操広めん」
- 山口市立小郡中学校吹奏楽部
- 県立青嶺高等学校映像研究会

※野村由佳さんは、一年間に二回受賞されている。

ピックアップ

二〇一五年 NHK大河ドラマ特別展

「花燃ゆ」山口展

二〇一五年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となった山口県。大河ドラマの主人公、杉文やその周りの人々、時代背景を紹介する特別展が県立萩美術館・浦上記念館で開催されます。

メンバーズクラブカードもご利用できます。

杉文(のちの榊取美和子)は、一八四三(天保一四)年に萩城下の郊外に位置する松本村に生まれました。

文の周りには、松陰の下で学ぶ松下村塾の若者たちが集い、日夜議論を戦わせていました。幕末の動乱が激しさを増す中で、文の家族や松下村塾の塾生たちはさまざまな困難に直面していきます。

これまで、文の存在は一般にはほとんど知られることはありませんでした。本展覧会では、初公開となる貴重な歴史資料や、文・松陰のゆかりの品々を一堂に展覧し、時代に翻弄されながらも新しい時代に松陰の志を引き継いでいった文と幕末を生きた長州の人たちの人物像を浮き彫りにします。



松陰先生の妹 文ちゃん

ご案内

◇第三十回国民文化祭・かごしま2015

全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が日頃の活動の成果や実力を披露し、交流する「国内最大の文化の祭典」です。今年も鹿児島県で開催されます。

時期…平成二十七年十月三十一日(土)～十一月十五日(日)

場所…鹿児島県全域

◇ねりんピックおいでませ!山口2015 音楽文化祭

音楽などの文化活動を通して世代間及び地域間の交流を深め、ふれあいと活力のある豊かで明るい長寿社会づくりを推進することを目的として開催します。

時期…平成二十七年十月十八日(日)

場所…山口市民会館大ホール(山口市)

文化の小径

指導者として思うこと



山口県邦楽連盟 会長
宮本歌千穂 氏

幼い頃より、両親の教育方針で、お茶・お花・習字・お琴と、毎日毎日、日替わりで稽古に通わされました。楽しいものもありましたが、一番苦痛に感じたお琴の稽古は、子ども心に、どうする休みしようかと小さな頭を悩ませた記憶が残っています。理由は、はつきりしませんが、そういう状態でも、辞めようとはしませんでした。程なく進学等の関係ですべてのお稽古から開放されました。

私の職業生活は、柳井高校への赴任で始まりました。クラブ活動の盛んだった柳高での私の任務は、よりによって邦楽部のお手伝いでした。途端に幼い頃の記憶がよみがえりました。が、外来講師の増本アサ子先生（後の山口県邦楽連盟副会長）は、何故か私を実の娘のように可愛がってくださり、お琴の練習より先生の人格の温かさにふれる心地良さが、私の放課後の時間を楽しいものにしていました。その後、岩国

商業、岩国高校と転勤しながら邦楽部員の指導や顧問を続けること三十余年、その間、山口県高校総文の引き受けや、全国高校総文に出場の為、大阪や埼玉に足を運び、とても楽しい邦楽活動の時間をもつことが出来ました。今にして思えば、何故幼い頃、あれほど嫌な気持ちを抱いていたのか？。個人の能力に起因するところが多いと思うものの、教える立場になってみて、指導者の在り方を考えるようになっていました。

学習者が、その学習過程でどう興味を持ち続けられるか、指導内容に創意工夫が必要でしょう。いずれの指導にも言えることですが、特に技術を要する内容のものには、指導者と学習者との根くらべが強く要求されます。指導者が先に根負けしてしまつては、指導者失格の烙印を押されかねません。グローバルな時代のニーズに従えば、古い指導法だけでは役に立たず、新しい工夫された

ものを加味しながら指導効果をあげるべきでしょう。

定年を待たず教職を引退し、私人としての自由な時間をもつようになつてからは、岩国文化協会から、私のお弟子達も一緒に、エベレット・ハワイ・中国等、海外への文化交流に参加するようになりました。楽器の性質上、輸送には頭を悩ませます。言葉や文字、皮膚の色の違いはあるものの、片言の英語に加え、万国共通語（身振り、手振り）で一生懸命接しますと、「さくら・さくら」など割合スムーズに弾けるものです。複雑な旋律と合奏すると、とても高度な表現をしているような気分になり、「ブラボー・ブラボー」と、手をたたいて喜んでくれます。音楽の世界に国境などありません。

私達は、我が国特有のこの伝統芸能の火を、時代がどのように変化しようとも絶やすことなく次世代に手渡す使命があります。その為には、後世代へのリレー役となる若者を育成しなければなりません。邦楽独特の個性を受け止める感性や、和楽器から紡ぎ出される音色を、生活の中で楽しむ力を養えるよう根気強く指導すべきでしょう。平成十四年に尺八や琴のジュニア・クラブを設立し、以来、次世代へのリレー役、ランナーの育成に余念のない今日この頃です。

賛助会員を募集しています

山口県文化連盟の活動に御協力いただける賛助会員（個人又は団体）を広く募集しています。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

電話 083-933-2610
年会費 10,5,000円

※賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。

※入会受付は随時しておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

地域の文化芸術活動を一度利用してみませんか

（講師（指導者）紹介・派遣事業）

当連盟では、県内各地域で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師（指導者）を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

※随時講師の登録を受け付けています。

編集後記

皆様の御協力の下、無事十六号を発行することができました。

現在放映中の大河ドラマで吉田松陰先生がおっしゃった「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」の言葉のとおり、真心を尽くし、努めて参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。